今、再審法改正に向けた動きが出てきています。裁判所も将来を見越して、検察に証拠開示命令を出すべきです。時間稼ぎは単なる人権侵害です。鈴鹿殺人事件において２年以上協議して何も進まない現実、関連証拠の開示に消極的な裁判所は明らかに職務怠慢です。　本来ならこんなに時間をかけて協議している場合ではありません。事件当日 11 時 34 分に「あメール」と呼ばれる SMS メールは既読、１６時 37 分には LINE アプリでスタンプがダウンロードされています。更にその後の時間帯でのスマホ操作の痕跡も明らかになっています。僕ではない”誰か”がスマホ操作をしたのです。これが“誰の”手によるものなのか、その核心部分に迫るときなのです。

僕のアリバイ（無実）は既に証明されているというシンプルな事実を世間に広げ、再審開始に向けた動きを皆さんで作ってほしいと思います。SNS での情報拡散が可能な時代になりました。僕には使えないツールが塀の外では使えます。是非、力強いご支援をお願い致します。

（4 月 16 日 / 加藤映次）

天神さんに祈る（第 17 回）　上野天満宮

名古屋には三大天満宮と呼ばれる三大天神があります。山田天満宮、桜天神社と紹介してきましたので、今回は上野天満宮。

上野天満宮はおよそ千年前（平安時代中期）に陰陽師・安倍晴明の一族がこの地に移り住む際に、菅原道真公を慕ってお祭りしたのが始まりとされています。道真が九州太宰府で生涯を終えて千年が過ぎました。道真は無実の罪を背負い京都から追いやられました。その無念を償うために道真の墓所の上に太宰府天満宮が建てられたそうです。道真も安倍晴明も日本を代表する勤勉な学者でした。彼らの理想は時の権力者から疎まれることもあったようです。しかし間違ったことには首を縦に振らない。正義を貫く。この姿勢が今日も慕われる原因なのでしょう。まさに冤罪を晴らす神様です。

上野天満宮　〒464-0094　名古屋市千種区赤坂町 4-89　TEL.052-711-6610

※学問の神様として知られる菅原道真ですが、雪冤（冤罪を晴らす）神様としても有名です。詳しくは当会報 24 号をご覧になってください。

加藤映次さん面会記　2025年4月17日

映次さんに会いに千葉刑務所に行ってきました。昨年の私は肺癌の診断を受け、手術と抗がん剤治療、散々な１年でしたので、面会に行ったのは久しぶりです。少し汗ばむ陽気だったせいか、面会室に現れた映次さんは白い半袖 T シャツ。元気そう、というのが率直な第一印象です。

ただ右の眉毛が半分なくなっています。「ストレスなのか食事の質が低下しているのか、眉毛が抜けてきているんですよ」と映次さん。 面会の主な目的はいつも会報の相談です。「次の会報どうします？」「あまり進展していないんですよね」「それはイライラが溜まりますね」　そんな会話を中心にあれこれ話しましたが、なにせ時間は 30 分のみ。いつも残り時間を気にしながら駆け足で相談します。

面会後に映次さんのお母様にメールでご報告。すると「息子は幼少のころからずっと円形脱毛症で悩んできました」と返信があり、いろいろなエピソードを紹介していただきました。彼の人となりを現す素敵な物語だと思いましたので、いつもの「改めて鈴鹿殺人事件とは」というコー